

広川町の 学校教育

町内小中学校の紹介 ①

上広川小学校と中広川小学校に各学校の取り組みや子どもたちの様子、コロナ対策などを伺いました。

お問い合わせ

教育委員会事務局
学校教育係

☎ 0943-32-0093
内線 262・263



跡部正徳 教頭

塚本保代 校長

上広川小学校

Q. 学校再開にあたり、どのようなコロナ対策をしていますか？

中村校長 現在は、ソーシャルディスタンスを保つために机の間を空けたり、全員がマスクを着けたりと、今までは違う生活様式で日々過ごしています。音楽の授業では、野外音楽場でマスクを着けたまま歌い、放課後は全職員で机やイスを消毒するなどの対策をとっています。

Q. 学校の取り組みで特に力を入れていることは何ですか？

田中教頭 本校では、学習の遅れを取り戻すことはもちろん、子どもたちの心や体の健康を守ること大切



にしています。長い休業で体力が落ちている子どもたちは、熱中症になりやすいため、安全に体育の授業を行えるよう、熱中症予防や応急処置、筋肉トレーニングについて、職員研修を実施しました。

中村校長 友達やその家族が病気になったときに、相手を恐れたり攻めたりせず、励ますことができるよう、コロナにかかわる差別や偏見についての職員研修も行いました。体の距離を空けなければいけない今だからこそ、心の距離を近くする大切さを指導しています。

Q. 具体的に授業で工夫していることを教えてください

Q. 学校再開にあたり、どのようなコロナ対策をしていますか？

塚本校長 子どもたちは、学校に入る前に手をアルコールで消毒したり、三密を避けたりと、今までと大きく変わった生活様式で日々過ごしています。

跡部教頭 休業により長期間体を動かしていなかったので、体育では支援サポーターから頂いたDVDを見ながら、体づくりの運動をしています。今まで元気に声を出していた音読や歌は、小さな声で読んだり、広い場所で歌ったりしています。

Q. 学校の取り組みで特に力を入れていることは何ですか？

塚本校長 本校で今一番力を入れているのは、図書館の機能を活かした教育活動です。図書館には、本を読む喜びや楽しさを味わったり、新たな発見ができたりするといったよさ

があります。

跡部教頭 図書館を利用するときにも新しい生活様式を取り入れていきます。例えば一度に入る人数を20人までに制限し、順番に並んで本の貸し出し・返却をするようにしています。6月には読書週間を設け、職員が日替わりで各クラスを回り、読み聞かせを行いました。

Q. 子どもたちが意欲的に本を読むための工夫を教えてください

跡部教頭 学校司書と連携して「こびとさがしフェスタ」を開催しています。廊下や多目的ホールに隠れている10体のこびとを探し、そこに書かれた本を借りて読むことで、ポイントがもらえるというもので、ポイントが貯まると、しおりやブックカバーと交換することができます。このように、子どもたちが新しい生活様式に慣れ、本を読む楽しさを味わえる企画を考えています。



田中教頭 コロナ禍の中、これまでのように子どもたちが自由に対話しながら学習することは難しいです。

けれども「できた」「わかった」「もっとやりたい」と思う子どもが増えるよう、授業も工夫しています。例えば、ICT機器を使って画像を見

せたり、デジタル教科書（DVD）を使ったりしています。

中村校長 運動会の中止など、たくさん制限がある学校生活ですが、子どもたちが元気に過ごせるよう、今後も職員一同頑張っていきます。



中村裕明 校長

田中真由美 教頭

中広川小学校